

第3学年 美術科 学習指導案

指導日時 平成19年10月27日(土) 2限
指導者 職・氏名 教諭・
場 所 国語教室(3A教室)

1 教科研究テーマ

「創造行為としての鑑賞活動」～見て、感じ取り、自分の言葉で発信する力の育成～

2 題材名

風景版画今昔<葛飾北斎と鈴木英人> ～作品との対話から見えるもの感じ取るもの～

3 題材の目標

- ・版画作品を味わい、作品に対する自分の解釈と他者の解釈を比較し、鑑賞活動の広がりを楽しもうとする。 【美術への関心・意欲・態度】
- ・版画作品の特徴とよさや美しさを自分なりに捉え、その根拠を造形言語(主題・構図・色彩・形・技法などの造形要素を表す言葉)で表現し、コミュニケーションを通じて視野を広げながら、作品に対する見方・感じ方を深める。 【鑑賞の能力】

4 指導に当たって

(1) 教材観

鑑賞の学習では、生徒が美術作品を見ることを通して、対象のよさや美しさなどを豊かに感じ取り、作者の表現意図や制作方法の工夫などを味わったり、美術文化について理解したりするなど、自分なりに思いを巡らせながら見方を深めていくことが求められる。本題材では、美術作品との対話型鑑賞活動を通して、作品に対する視野を広げながら、見方や感じ方を深めることができるようにしたいと考えた。具体的には、日本の代表的な浮世絵作品と現代版画作品との比較から、題材や描写方法などでの意外な接点や共通点から生徒の興味を引き出したいと考えている。

また、インターネットによる作品検索は、調べ活動を行ううえで便利ではあるが、作品鑑賞に利用するには限界がある。今回は、学校図書館を有効利用し、画集や作品集に触れることにより、書籍を活用した鑑賞のおもしろさを再認識するとともに、作品の見方について広がりや深まりが生まれるようにしたい。

(2) 生徒観

3年生は、普段の授業の中でも生徒作品や資料集に掲載されている作品例を見たり、制作中に友達の作品を見合うなどの活動を通して、表現活動の中でも鑑賞活動を行っている。これまでに行った鑑賞学習としては、美術館と提携して行った「マイ・ミュージアム」や「鑑賞写生会」、「出前美術館」などがある。本題材において、今までに培った能力を発揮させるとともに、さらに造形言語を重視した「言葉による表現活動」を充実させたい。

(3) 指導観

鑑賞活動において鑑賞の視点を明確にせずに感想を書かせると、造形的な視点のない感想文に陥ることがある。美術の鑑賞では、形や色などの造形的な要素をおさえて作品から受ける印象などを語っていくことが大切であり、そのためには言葉で考えさせ整理させることも重要である。造形に関する言葉で表現することによって、見る視点を整理し、作品の見方や感じ方を豊かにしていきたい。また、知識の習得にとどまらず、自分の感性で自由に感じ取らせ、自分の価値観を基に発信させし、他者との交流を通して様々な見方や考え方ができるようにしたい。

5 題材の指導計画及び評価計画（総時数2時間）

次	小单元名及び 主な学習内容	時 数	関 心 意 態	発 想 や 構 想	創 造 的 技 能	鑑 賞 の 能 力	評 価 規 準
一	浮世絵版画と現代版画を比較しよう ・浮世絵版画と現代版画との共通点と相違点について考え、造形言語を用いてそれぞれの特徴を表す。	1	○				<ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵と現代の版画作品を見比べて、共通点と相違点に気づき、それぞれのよさを味わおうとする。 ○ ・それぞれの作品の特徴を自分なりに捉え、その根拠を造形言語（主題・構図・色彩・形・技法など）を用いて表わす。
二	作品紹介カードをつくらう ・自分の気に入った作品を選び、その根拠を作品紹介カードにまとめる。 ・作品紹介カードを作品集にはさみ、互いに読み合い作品を鑑賞する。	1	○				<ul style="list-style-type: none"> ・作品集から自分の好きな作品を選び、気に入った根拠を伝えようとする。 ○ ・気に入った版画作品の特徴を自分なりに捉え、その根拠を造形言語（主題・構図・色彩・形・技法など）を用いて表わす。 ○ ・他者とのコミュニケーションを通じて視野を広げ、作品に対する見方・感じ方を深める。

6 本時の学習（第一次 第1時）

(1) 小单元名 浮世絵版画と現代版画を比較しよう

(2) 本時のねらい

- ・浮世絵版画と現代版画の作品を比較して共通点と相違点に気づき、それぞれのよさを味わおうとする。
【美術への関心・意欲・態度】
- ・それぞれの作品の特徴を自分なりに捉え、その根拠を造形言語（主題・構図・色彩・形・技法など）を使って表わす。
【鑑賞の能力】

(3) 実践の視点（研究テーマとの関連）

日本の代表的な浮世絵作品と現代版画作品との比較から、題材・描写方法などでの意外な接点や共通点に気づき、対話型鑑賞活動を通して、作品に対する見方や感じ方を深める。造形に関わる言語による表現を意識させることで、より創造的な鑑賞活動を展開したい。

(4) 準備・資料等

- ・浮世絵作品画像（「富嶽三十六景」葛飾北斎）、シルクスクリーン作品画像（鈴木英人）
- ・電子情報ボード（またはプロジェクター）、PC、資料、ワークシート、版画作品集

(5) 本時の展開

時間 (分)	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
5	・浮世絵版画を鑑賞し、気付いたことや感じ取ったことを発表する。	○富嶽三十六景『山下白雨』を鑑賞し、気付いたことを発表する。 葛飾北斎の作品を鑑賞しよう。		・浮世絵版画に関心をもち、よさを味わおうとする。 【美術への関心・意欲・態度】 (行動観察)
10	・浮世絵版画を鑑賞し、気付いたことや感じ取ったことを書く。	○『凱風快晴』を鑑賞し、造形要素に注目して気付いたことや感じ取ったことをワークシートに書く。 造形要素に注目して気付いたことを書こう。	・気付いたことや感じ取ったことを自由に発表させる。 ・〈主題〉〈構図〉〈色彩〉に着目して考えさせ、ワークシートに書くよう促す。	
10	・気付いたことや感じ取ったことを発表しあう。	○『凱風快晴』を見て気付いたこと、感じ取ったことは… ○意見交流を通じて、自分が気付いたことや感じ取ったことと、他者との共通点と相違点について知る。	・意見交流の場を設け、造形的な要素〈主題〉〈構図〉〈色彩〉〈技法〉を意識して表すことができるようにする。	・作品の特徴を自分なりに捉え、その根拠を造形言語を用いて表す。 【鑑賞の能力】 (ワークシート)
15	・浮世絵版画と現代版画の共通点と相違点を見つける。	○浮世絵版画と現代版画を比べながら鑑賞する。 浮世絵版画と現代版画の共通点と相違点を見つけよう。		
5	・学習のふりかえりをする。	○『神奈川沖浪裏』と現代版画を比べて気付いたことは… 「富士山は共通だな」 「波の表現には違いがある」 ○本時をふりかえり自己評価を行う。 ○次時の学習の見通しをもつ。	・同じ富士山を扱ったシルクスクリーン版画と比較し、表現の違いに気付かせ、それぞれの表現のねらいを味わえるようにする。 ・ワークシートをもとに学習のふりかえりを行えるようにする。 ・次時の学習の予告をし、意欲をもたせる。	・浮世絵版画と現代版画を見比べて、共通点と相違点に気づき、それぞれのよさを味わおうとする。 【美術への関心・意欲・態度】 (行動観察) ・作品の特徴を自分なりに捉え、その根拠を造形言語を用いて表す。 【鑑賞の能力】 ※(ワークシート)

※授業後の評価